

## なぜ「土佐派の家」は土着の知恵を基に考えるのか

【講師】 山本長水（やまもとひさみ） / 山本長水建築設計事務所主宰

### 概要

なぜ「土佐派の家」は土着の知恵を基に考えるのか。

近代文明の生まれた西欧の風土に比べて日本の風土、中でも高知の風土の特徴は、雨が多く、湿度が高く、木がよく育つ、雨が漏り、カビが生え、冷たいものは露を呼ぶ、台風が来る、地震がある。我が国の木造建築には千年を越える伝統があり、柔よく剛を制す知恵が伝えられている。

近代文明の中に生きる我々は文明の持続が危ぶまれる二つの問題点に答えなければならない。化石エネルギーの多用に伴う地球温暖化と化学薬物の使用による生態系の混乱である。

我が国の木造建築の伝統は近代文明が日本に入る前に完成した手法であり、この風土のもとで持続可能性を求める方向の主流になるべき性格を本来備えており、既に経験済みの安心して頼れる手法であると言える。



相愛本社社屋



かたつむり荘

写真撮影

[上]GEN INOUE

[左右]

西森秀一

■日時:2017年2月10日(金)19:00~21:00(18:30 受付開始)

■場所:建築家会館JIA館1F建築家クラブ

渋谷区神宮前2-3-18 TEL:03-3408-8291

■主催:JIA金曜の会(部会長 日高敏郎)

■協賛:NPO建築家教育推進機構

■参加費:一般1500円(飲食物代含む) 学生無料

■CPD:認定プログラム 2単位

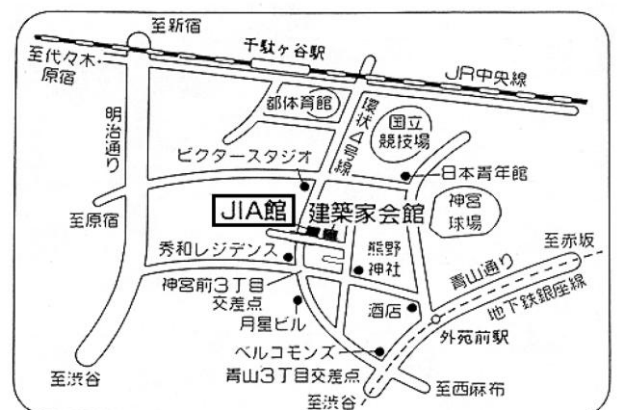
■参加申込:どなたでも参加可能です。氏名、所属、連絡先及び

CPD単位を必要な方は一級建築士番号(JIA会員)又は

CPD ID番号(他団体/協会)をご記入の上、前日迄に下記宛

お申込みください。

■申込、問合せ:frdmjia@gmail.com (JIA 金曜の会 佐藤) 当日連絡: : 070-1265-7008 (佐藤)



## 講師プロフィール

### 山本長水（やまもと ひさみ）

#### [経歴]

- 1936 年 生まれ 土佐高校を経て日本大学工学部(現理工学部)建築学科卒業  
1959 年-1964 年 市浦建築設計事務所勤務  
1963 年 一級建築士取得  
1964 年-1966 年 猪野工務店勤務  
1966 年 10 月 山本長水建築設計事務所を設立、現在に至る  
高知女子大学、高知大学非常勤講師、高知工科大学客員教授を務める

#### [受賞等]

- 1978 年-1992 年 高知県建築設計監理協会会長、  
1984 年 建設省「いえづくり'85 プロジェクト提案競技」特別優秀提案(建設大臣賞)グループ代表者  
1992 年-1996 年 日本建築家協会四国支部長、  
1996 年 優良木造施設農林水産大臣賞  
1998 年 日本建築学会作品選奨  
1999 年 日本建築学会賞(作品部門)、同作品選奨、高知県文化賞、  
2002 年 JIA25 年賞、日本建築家協会名誉会員  
2002 年-2004 年 日本建築学会四国支部長  
2007 年 優良木造施設林野庁長官賞  
2012 年 日本建築学会名誉会員

#### [近著]

建築家会館の本『建築家の土着』 地域の知恵と「土佐派の家」の仲間たち  
山本長水+山本長水の本をつくる会著 建築ジャーナルより出版

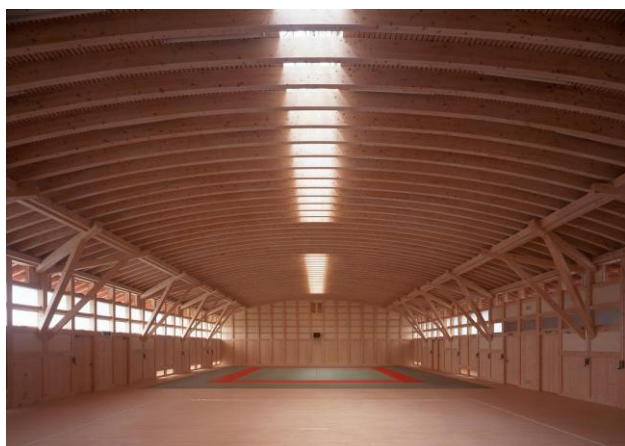
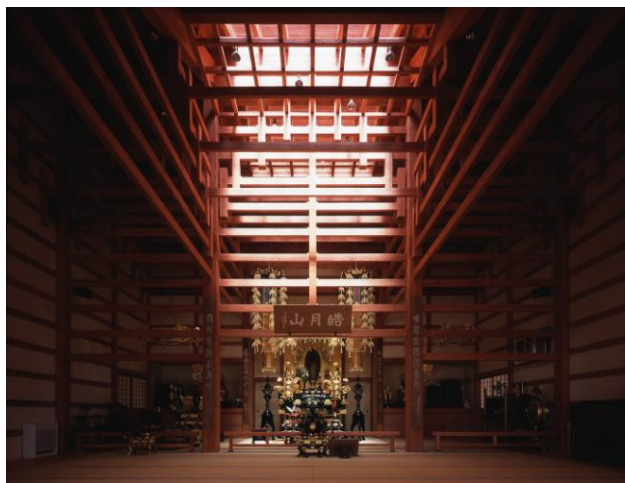


写真 [上] 稱名寺本堂 [下] 中芸高校格技場  
撮影/西森秀一